

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年2月26日

【2018年2月17日～2018年2月23日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルで下落する一方、米ドル高・円安が進行したことを受けて対円では小幅に上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

16日(現地、以下同様)に発令された、リオデジャネイロ州の治安部門に対する連邦政府の介入に関する大統領令は、21日までに上下両院において承認され、同部門は2018年12月末までブラジル陸軍の指揮下に置かれました。ブラジル憲法は「連邦政府の介入や防衛事態、戒厳令の発動下では憲法を改正できない」ことを定めているため、憲法改正を伴う年金改革法案の採決は、連邦政府の介入が停止されるまで不可能となりました。

ブラジル政府は、年金改革法案の早期採決を断念し、10月の大統領選挙以降に先送りしたと考えられます。これを受けて23日には、格付会社フィッチ・レーティングスが財政の改善を可能とする改革が実現できていないことを理由にブラジルの自国通貨建てと外貨建ての長期債務格付けを1段階引き下げ「BB-」としました。

ブラジル金融市場は既にこの可能性を十分に織り込んでいたことから、債券・為替ともに大きな影響はありませんでした。

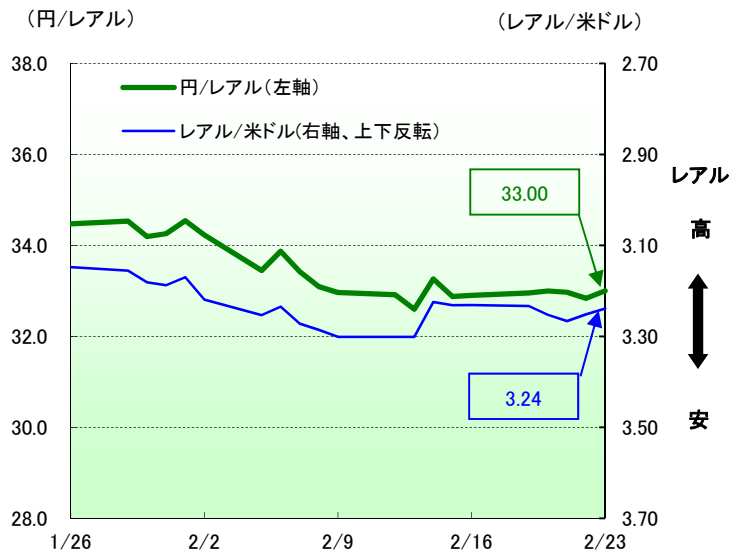
### 【2】今週の見通し

ブラジルの構造改革の柱となる年金改革が頓挫したため、政府はその代替策として、ブラジル中央電力公社(エトロプラス)の民営化や税制の簡素化、中央銀行の独立性強化など、15項目からなる優先的な経済政策パッケージを発表しました。今後、政府はこれらの政策の実現に注力する形となりますが、まもなく大統領選が本格化することから、議会での審議は難航するとみられます。こうした構造改革の停滞により、同国には格下げ方向の圧力が掛かることも想定されるため注意が必要です。

経済指標では、基礎的財政収支など国家財政に関する指標と、2017年10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率が発表される予定です。後者につきましては、市場予想で前期比+0.5%、前年比+2.8%程度の経済成長が見込まれており、同年7-9月期の前期比+0.1%、前年比+1.4%に比べて経済成長が加速すると想定されています。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

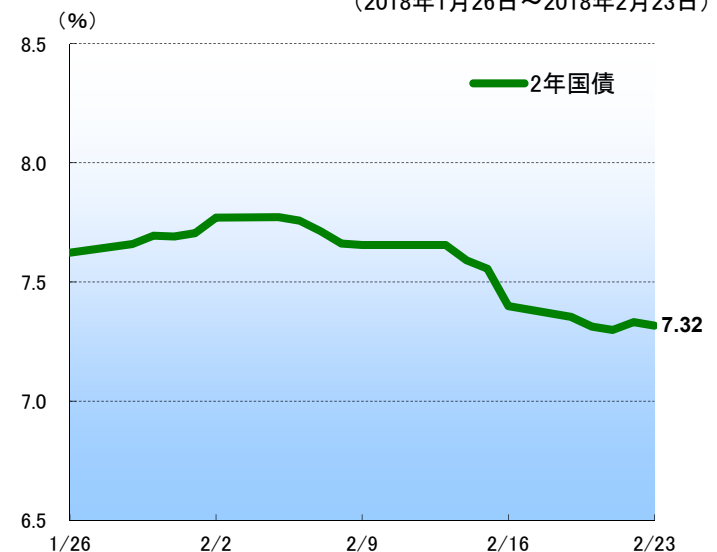
(2018年1月26日～2018年2月23日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年1月26日～2018年2月23日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>